

三島 喜吉 議員 … 2 件の一般質問

本町の活性化と免税店の取り組みを



町長：一括カウンター設置の促進に努めたい

三島 外国人客をどうおもてなしして、いかに多くのお金をこの地に落としていってもらうかは、この地域経済にとって大きな位置づけにあると思う。

現在、本町内で免税店に取り組んでいるのが、二、三社程度であるが、この経済効果を何とか市街地に波及させていくためにも、一括の専用カウンターができれば外国人の方が消費しやすい環境ができ、本町の活性化のためにも思っている。町長の見解を伺う。

町長 国は、外国人旅行者による地方での旅行消費を拡大し、地域経済の活性化を図るため地方の外国人旅行者向け免税店の拡大を推進するため、新たに手続委託型輸出物品販売場制度の創設を行い、地方の名産品にも対象を拡大した。ことし4月より商店街等で免税手続の一括カウンター設置が可能となった。

現在、本町において免税店は市街地で5店、ひらふスキー場地区で5店の計10店舗がある。

本町としても、商工会議所、商店連合会など関係団体を通じ、一括カウンター設置の促進に努めたいと考えている。

三島 この冬に向けて、商工会議所、商店連合会、観光協会等の組織が合意された段階で、間に合うかどうか、間に合うような体制づくりができるのか伺う。

町長 免税店の取り組みは北海道経済産業局の説明会をよく聞いて取り組みをする。3カ月程度は準備がかかると思うので、早めに取りかかれれば12月には十分に間に合うと思っっている。意欲を持って進めたい。

三島 道内自治体の中で直前合宿、そして強化合宿の誘致を我が町にと45市町村が手を挙げている。

正式種目になるであろう野球・ソフトボール競技の中でもソフトボール競技、何とか本町でオリンピック直前合宿の誘致の手を挙げてほしいという打診があった。

オールジャパンの合宿が本町で行われれば、まづ子どもたちのスポーツに対する見方が変わる。子どもたちの教育にとつて本町に大事な部分になる。

本町を今まで以上に活性化していくことがこの町にとって絶対いいことだと思っ。本町として、早急に体制を整備し、取り組んでいく必要があると感じている。町長の見解を伺う。

町長 五輪合宿の受け入れは、国内外で躍進する各競技の一流プレーヤーの姿を目にする事で、次代を担う若い世代への好影響は大きいと考え、積極的に受け入れたいと考える。

ソフトボール競技については、これまで長年にわたり女子実業団や、過去には全日本女子チーム

の強化合宿が行われた実績もあり、この実績を強みとして、今後とも誘致に向け受け入れ態勢の充実と関係競技団体との連携を深めていきたいと考えている。

さらに、合宿の可能性として、総合体育館を利用した競技が考えられるが、関係部署、各団体との連携のもと、積極的な受け入れを考えていく。

さあ、未来をつくらう。

TOKYO 2020. PARALYMPIC GAMES